

図書館だより

武雄高等学校 図書指導部
令和4年4月21日発行

入学・進級おめでとう！

新年度が始まり、3週間が経とうとしていますが、学校、新しいクラスに慣れましたか。図書館では、みなさんにとって、「本との出会い」、「本との触れ合い」ができるように環境を整えています。ぜひ、図書館へ足を運んで、充実した学校生活を送ってください。

分からないことがありましたら、気軽にお尋ねください。
1年間、どうぞよろしくお願ひします。



New!!



今年度から「Take off 手帳」に「読書の記録」のページを付け加えました。今年度1年間で、あなたが読んだ本を記録しておきましょう。

1年生は、中学生の時には手に取らなかったような本に、2年生3年生も、昨年度は読まなかったような本にぜひチャレンジしてみよう。読んだ本の記録は、そのままあなたの「学びのポートフォリオ(学びの記録)」の1つになります。

新任の先生方のオススメの本の紹介

紹介された2冊の本は、図書館に展示しています。
興味ある人は、図書館までどうぞ!(^^)♪

①

『ライオンのおやつ』小川 糸【著】(ポプラ社)



〈おすすめポイント〉

ポスピア「ライオンの家」が舞台です。
「限りある命に向き合うことは、豊かに生きることにつながる」と、読み終えた時に素直に思える作品。

②

『図解眠れなくなるほど面白い物理でわかるスポーツの話』
望月 修【著】(日本文芸社)



〈おすすめポイント〉

様々なスポーツが載っています。
スポーツ好きな人は是非1度読んで見てください。高校物理にも親しみやすくなるかも？



☆2022 年本屋大賞が発表☆

4月6日(水)に、2022年の「本屋大賞」が決まりました。

「大賞」は新人の逢坂冬馬さんの『同志少女よ、敵を撃て』でした。

2位以下は次のようになっています。

これらの作品は、図書館に置いています。興味のある人は、どうぞ借りに来てください。

『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂 冬馬【著】



1942年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、突如奪われる。

日常と家族を奪った敵に復讐をはたすべく、中央女性狙撃訓練学校で、一流の狙撃兵になることを決意したセラフィマ。

同じような境遇で家族を喪い、戦うことを選んだ仲間たちとともに訓練を重ねながら、やがてセラフィマは、赤軍女性狙撃小隊の一員としてスターリングラードの前線へ向かうことに…。

昨年度 武雄高校貸出ランキングベスト3

	書名・著者名・出版社	内容
1位	『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』 汐見 夏衛【著】 (スターツ出版)	高2の茜は、誰からも信頼される優等生。しかし、隣の席の青磁にだけは「嫌いだ」と言われてしまう。茜とは正反対に、自分の気持ちをはっきり言う青磁のことが苦手だったが、茜を救ってくれたのは、そんな彼だった。「言いたいことあるなら言っていていいんだ。俺が聞いてやる」。実は茜には、優等生を演じる理由があった。そして彼もまた、ある秘密を抱えていて…。青磁の秘密と、タイトルの意味を知るとき、温かな涙があふれる。
2位	『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』 東野 圭吾【著】 (光文社)	殆どの人が訪れたことのない平凡で小さな町。寂れた観光地。ようやく射した希望の光をコロナが奪い、さらに殺人事件が…。犯人と探偵役、それぞれの仕掛けが張り巡らされています。騙されないように、お読みください。
2位	『新 謎解きはディナーのあとで』 東川 篤哉【著】 (小学館)	相変わらずマイペースで空気を読まない上司の風祭警部と、天然でドジっ娘な後輩の若宮刑事の間で捜査にあたる麗子の奮闘を、ぜひ応援してください。影山と風祭警部がたびたび披露する、華麗なる”トリックの実演”にも注目です!
3位	『雨の降る日は学校に行かない』 相沢 沙呼【著】 (集英社)	スクールカースト、保健室登校…学校生活に息苦しさを感ずる女子中学生たちの揺れ動く心を綴った連作短編集。 劇的なハッピーエンドではないが希望を感じさせる結末が共感を呼ぶ。

売りたい本 100冊以上 2022年本屋大賞

2022年大賞決定!!

本屋大賞

大賞

2位

3位

4位

5位

6位

7位

8位

9位

10位

Supported by **NOLTY** **PAGEM** 手帳ブランドNOLTY/PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。